

|    |   |               |
|----|---|---------------|
| 1  | 日 | 岡山県公開模試(会場受験) |
| 2  | 月 | 33週           |
| 3  | 火 | 祝日休校(11月7日振替) |
| 4  | 水 |               |
| 5  | 木 |               |
| 6  | 金 |               |
| 7  | 土 | 11月7日振替日      |
| 8  | 日 | 休校            |
| 9  | 月 | 34週           |
| 10 | 火 |               |
| 11 | 水 |               |
| 12 | 木 |               |
| 13 | 金 |               |
| 14 | 土 | 中学受験補習小6      |
| 15 | 日 | 適性検査模試(小6)休校  |
| 16 | 月 | 35週           |
| 17 | 火 |               |
| 18 | 水 |               |
| 19 | 木 |               |
| 20 | 金 |               |
| 21 | 土 | 中学3年生受験生補習    |
| 22 | 日 | 休校            |
| 23 | 月 | 休校(11月30日へ振替) |
| 24 | 火 | 36週           |
| 25 | 水 |               |
| 26 | 木 |               |
| 27 | 金 |               |
| 28 | 土 | 中学生期末考查対策補習   |
| 29 | 日 | 中学生期末考查対策補習   |
| 30 | 月 | 11月23日振替      |

ヒーローズ塾生のみなさん、保護様方、こんにちは。

高校受験私立高校入試開始まであと100日を切りました。まだエンジンがかかりきっていない人はいませんか？ 年が明けたらすぐに入試が始まります。もう本腰を入れて勉強しなくてはいけない時期です。もちろん、早くからエンジン全開で頑張ってきた人は、このままやり切りましょう。

面談でもお話をしていますが、入試までの期間はまだ長くはないです。これからの頑張りとはとても重要です。この時期、どの受験生も勉強しています。そんな中、もしも勉強をしなかったとしたら、**たとえ自分の学力が落ちていなくても、順位は確実に落ちてしまいます。**受験は順位で決まる競争ですから、負けたら合格できません。つまり、絶対にやらなければいけないのです。みんなが勉強している時期というのは、やっても成績に結び付きにくい時期でもありますが、ここで他の人以上に努力できれば、成績はちゃんと上がります。入試直前にぐんと伸びる生徒さん人も毎年たくさん見えています。今やるべきことをしっかりとやっつけば、その努力は必ず実ります。今やらないと、受験が終わったときに後悔することになるでしょう。

まずは現状確認。公開模試が最適です。

### 高校受験の対外試合、岡山県模試はあと実質の3回です。

11月1日(会場:就実高校)は岡山県内の中学3年生がおそらく3000人以上は受験します。今の学力を確認する上で非常に大切な試験です。締切(10月14日)を過ぎていますが若干の席数があるようようです。まだ申し込みをしていない生徒さんがいれば是非受験してください。あとはもう冬期講習のあとの1月10日、そして特別入試直前の2月7日のみです。志望校合格判定ができる模試の結果からの対策期間を考えるうえでは、今回の11月模試は絶対に必要でしょう。

### 小6 中学受験適性模試は11月15日が最後です。

中学受験は12月5日の清秀中(学芸館)皮切りに高校入試より一足先によいよ本番です。公立中学入試(1月9日)を控え、最後の適性模試を弊塾でも行います。対象の生徒さんは別途、その前日の補習案内と附せて、通知いたしますのでご参加ください。(11月15日10時15分~12時、ヒーローズ岡山妹尾・庭瀬校)

### 11月3日(火)と23日(月)は祝日休校で振替を行います。

3日火曜は7日の土曜に、23日(月)は曜日配列が奏功し、そのまま30日(月)に授業を行い月4回とします。時間などはそのまま移行させていただきます。と

くに土曜7日にて日時などにご都合の悪い生徒さんは個別にお申し出ください。

### 11月28、29日(土日)中学生期末テスト対策補習を行います。

12月に入るとすぐ期末テストです。学校別、学齢別に行う予定にしています。別途、お知らせします。

### お手数ですが、保護者様方、生徒さんと一緒にアンケートにお答えください。

指導には生徒指導と教務指導があります。生徒指導は人としてのふるまいから学習のやり方や日頃の取り組み方など、教務指導は教科そのものを指導するものです。この2つは両輪で片方が出来て、片方が出来ていないではダメなわけです。我々、指導するほうもそうです。生徒さんへの取り組み方と授業のわかりやすさなど両輪であるべきと考え、日々の改善が必要だと認識しています。アンケートは塾全体に対してでもいいですし、よく見ていただいている先生を個別に指定して

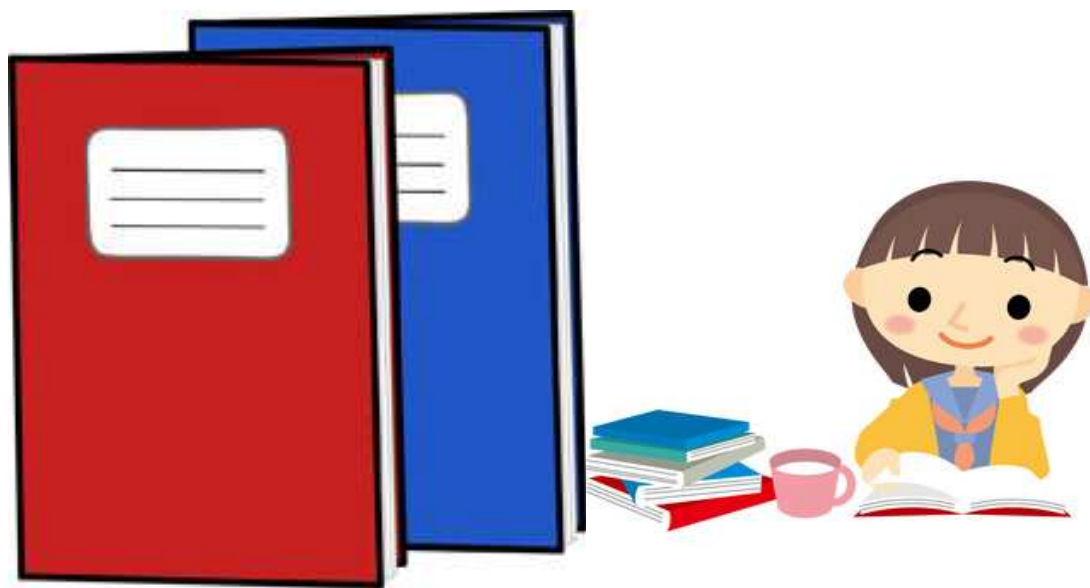
いただいてもかまいません。今後の指導改善につなげますので、忌憚のない評価や意見をお願いします。記入のうえアンケート入れを入口（出欠時間確認パソコンの横）に置いておきますので、提出していただければありがたいです。

### **わかる できる とれる、の3段階を知ること。**

まず、勉強は単に意味もなくワークなどの問題を解いても、一向に実力テストでは点になりません。まずはテストで点をとるためには3つのステップがあることを知ってほしいと思います。

**まず、わかる、ということ。**「わからない。」という問題に出会った生徒さんの思考はほぼ7割以上の生徒さんが「忘れた。」「習っていない。」と言ってとばしてしまいここで勉強がストップしてしまいます。残り3割の生徒さんは、テキストの例題を見たり、解答の解説を確認したりして何とか解こうとします。ここで出来た場合は、おそらくほぼ全員の生徒さんは「できた。」となり錯覚しテストを迎えまったく点がとれない結果になってしまいます。実際は違います。実はまだ最初の「わかる。」の段階でさえありません。まずは、自宅に戻り、出来なかった問題をもう一度、解く。ここで出来た場合に初めて最初の「わかった。」となります。つまり、一度、学習したことが、短期記憶があるうちに再現できることが「わかった。」となります。大方の生徒さんは塾でテキストを1度やって、再現する時間差もなく「わかった。」となり、もっと勘違いの生徒さんの場合は次のステップである「できた。」にもなっています。

**次にできる、ということはどういうことか？**まずは一度、時間差を置き、再現できることが「わかった。」になること。次に「できる。」になるためには、「間違った問題、できなかった問題」「覚えないといけない事項、大切なこと。」など専用のノートやファイルにまとめ、繰り返し見ること。教科はどの問題もパターン問題があります。受験でもそのパターン問題はよく出題されるため、最初はその問題を繰り返し学習します。よくいう定番問題で正答率が高い問題のことです。この定番問題はパターン問題とも言い換えてもいいでしょう。このパターン問題。実は非パターン問題もあるわけで、パターンかどうか区別できるかどうか？が大きな分かれ目になります。パターン問題を解くために非パターン問題が発見できるような段階で初めて「できる。」となります。この段階になるとパターン問題をすでに身につけて同類の問題が楽に解けるようになっているはずで、これが「できる。」です。



**とれる、の段階。**「とれる。」というのはテストで点がとれる、ということで、この段階になるとパターンの意味もわかるようになってくるので、これまでの非パターン問題でも、その意味を理解し問題を解きほぐして自分なりに分解し、自分の習得しているパターンに持ち込むことができる。つまり応用が利く、という状態になります。当然にここまでの段階にくるまでは一定以上の練習量も必要であることは言う間でもないです。地道にノートにまとめて繰り返し似たようなパターン問題にあたることは苦痛でしょう。しかし、この経験が「とれる。」という段階に引き上げてくれ、学力がつく、ということになっていきます。